



あらゆる仲間と連帯し、JR東海 労連の組織展望を切り拓こう！ JR東海労連第2回定期大会開催

JR東海労連は2月11日、名古屋市で第2回定期大会を開催しました。

淵上執行委員長は、挨拶で「ABCマートの労働組合は1人からのスタートで組織が拡大した。経験のない闘いであろう。私たちは、この闘いの実践を学ばなければならない。JR総連で労連があるところは、北海道と貨物だけで、東日本は消滅し、この先の展望は見えない。JR東海労連の組織展望を切り拓くために奮闘しよう」と訴えました。

質疑では、「労働組合の必要性が問われている。JS労の闘いに学ぶ」「困っている労働者を助けるのは労働組合として当たり前。JR総連は団結と連帯を否定するようになった」「サービック労組（JR東海ユニオン系）では、マネージャー（助役）の組合員化や二重加盟を認めないなどの規約を改正しようとしている。JS労結成の影響が出ている」などの発言が出されました。

本橋事務局長は、総括答弁で「ABCマートの労働組合は氏名非公開である。組織拡大の手段として、二重加盟でも構わない。リニアに反対する仲間など、地域で活動する仲間と共に闘い、組織強化・拡大を目指そう」と訴えました。

最後に、淵上委員長の団結ガンバローで委員会は成功裡に終了しました。

